

9月、組織員数200人を超す 9.17CU東京拡大決起集会



9月17日、ラパスホールにてCU東京拡大決起集会を開催、4組合、8支部、33人が参加。

東京地評副議長の平山和雄さんは「CU東京の支部確立がなぜ重要なのか」の講演で、「新しい情勢は、労働組合のたたかひの真価が問われる。「貧困と格差」打開の国民各層との共同、非正規労働者の組織化という、二つの方向での役割が期待されている」と非正規労働者の組織化が重要であることを強調。

結成して15ヵ月、CU東京は200人を超しました。4桁の組織人員の目標から見ればその端緒についてところです。決起集会では年内300人のCU東京を目指すことを確認しました。

組合員の皆さん、貴方の周りには組合未加入の労働者に、組合加入を訴えてみましょう。解雇、や賃金未払い、パワハラなどを一人で悩んでいる人、CU東京に入って仲間と一緒に不安や悩みの解決を取組んでみませんか。

江戸州支部結成

9月16日、CU東京江戸川支部が結成されました。前号でもご紹介しましたが、この間結成準備の作業



を積み重ね、支部結成へと漕ぎ着きました。区労連、各労組の支援をうけ24人でスタートとなりました。

結成大会では平山和雄東京地評副議長、川村CU東京副執行委員長が激励の挨拶。続いて経過、方針を提案。①100人の支部を、②労働相談に機敏に対応していく、③組合員の交流を深める、④労働者の権利などの学習をすすめるなどが報告・提案され、一括確認されました。大会終了後の懇親会では、これからの展望を出し合いました。役員は別記のように決まりました。

【役員】執行委員長・鈴木正美、書記長・宮澤罔寛、書記次長・木村潮人、執行委員・長谷川初幸、飯田康男、狩野洋一

CUこうとう支部第2回大会 (地域労組こうとうニュースNO11号より抜粋)

9月18日、地域労組こうとうの第2回定期大会が古石場文化センターで開かれました。

冒頭あいさつした名越委員長は、「共済と要求実現のための団体交渉を魅力に組合員を増やしていきたい。昨日江戸川にも地域労組が出来た。こうとうは先発隊として他の地域と連携して頑張りたい」述べました。

来賓の地評副議長の平山さんは「不安定雇用労働者



の増大は、日米財界の圧力で進められた。この政策を容認する多数の労働組合の存在が問題、これに負けることなく我々の仲間を増やしていこう」。CU東京の関根書記長は「労働組合の交渉力が頼りにされている。CU東京の中で一番大きな支部であるこうとうが牽引車として頑張りたい」と挨拶。江東区労連の新野議長は「生活保護を受けた方が働いて得る収入より多いという逆転現象が生まれている。こうした状況を打開する上で地域労組の役割は大きい」と述べました。続いて亀戸労働情報センターとCU品川のメッセージを紹介、明乳争議団の村山さんのあいさつもありました。

大会は総括・方針と規約改正案を川村書記長が、決算・予算を田辺会計が、会計監査報告を丹木会計監査が行いました。討論の中では「バーベキュー大会を行って欲しい」との要望の他、「初めての労働審判を行い不安はあったが、弁護士さんと労働組合の力で勝利出来た。労働組合は労働者の利益を守ってくれる、ということの大切さを感じている」との発言がありました。このあと全ての議案を全会一致で採択。新年度役員を選出しました。

大会後の懇親会では、激励に駆けつけてくれた各地域労組の仲間や区労連の仲間、忙しいなか駆けつけてくれた西田弁護士のあいさつも受けました。

【役員】執行委員長・名越秀和、副執行委員長・上村博司、清水啓子、中村 元、書記長・川村好正、書記次長・茂呂裕一、安原エミ、この他に執行委員などのみなさんです。